学校番号	３０８

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	地理演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	地理探究（二宮書店） 詳解現代地図最新版（二宮書店）世界の諸地域 NOW（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・本科目では、いま、世界で何が起きているのか、そして世界はどこに向かおうとしているのか、「地理総合」で学んだことを土台にして、現代世界のさまざまな課題や動向について、正しく理解し、的確に判断する能力を身につけることを目標とし、さらに演習を繰り返すことでその力を実践的な入試問題などにも対応できるようにしていきます。
・世界の現実を分析、整理するために教科書だけでなく、幅広い情報を扱うことで、地理的なものの見方、考え方を養ってほしいです。そして、授業で取り扱うさまざまな社会課題に対し、課題の解決に進んで参加しようと取り組んでください。本授業での活動を通し、課題解決能力を養い、国際社会に主体的に生きる人になってくれることを期待しています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　世界の現実を分析、整理し、総合的にとらえ、考察することで、地理的なものの見方、考え方を養う。また、演習を繰り返すことで、大学入試にも対応できる力をつける。
【思考力、判断力、表現力等】
　社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
　広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事情に関して、世界の空間的な諸事情の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけるようにする。 演習を繰り返すことで大学入試にも対応できる力を養う。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。資料の読み取りを多く実施し入試問題にも対応できる力を養う。	地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して養われる日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様や生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	世界各地の自然と生活	1 世界の気候区分 2 熱帯の自然と生活 3 乾燥帯の自然と生活 4 温帯の自然と生活 5 亜寒帯と寒帯の自然と生活 新しい視点 高山地域の自然と生活	a: 世界各地の自然と生活に関わる諸事象の規則性，傾向性や，気候区分の方法などについて理解することができる。 b: 気候の特徴と人々の暮らしとの関係性に注目して，「各気候帯での人々の暮らし」などの主題を基に，「厳しい自然環境の中で人々はどのように工夫して暮らしているのだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c: 世界各地の自然と生活について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査など	定期考査、レポート、プリントなど	活動観察、プリントなど
	日本の自然環境	1 日本の地形 2 日本の気候 3 日本の自然災害と防災	a:日本の自然環境に関わる諸事象の規則性，傾向性や，自然災害などについて理解することができる。 b: 日本の自然環境と自然災害の関係などに注目して，「自然災害と防災」などの主題を基に，「自然災害にどのように対処すればよいだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる c: 日本の自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査など	定期考査、レポート、プリントなど	活動観察、プリントなど

2	工業	1 社会の発展と世界の工業化 2 工業の立地 3 工業地域の形成と変化 4 自動車工業の特徴と日本の海外生産 5 国際分業の進展と多国籍企業 6 工業生産のグローバル化に伴う諸課題	a:工業に関わる諸事象の規則性，傾向性や，工業生産のグローバル化に伴う諸課題の現状や要因，解決に向けた取組などについて理解することができる。 b: 工業立地や変化などに注目して，「工業生産のグローバル化」などの主題を基に，「知識集約型産業は今後どのように展開していくのだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c: 工業の発展について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査など	定期考査、レポート、プリントなど	活動観察、プリントなど
	貿易・観光	1 世界を結ぶ貿易 2 世界と日本の貿易とその課題 3 世界を結ぶ資金の流れ 4 世界を結ぶ観光とその課題	a: 運輸，観光に関わる諸事象の空間的な規則性，傾向性や，貿易・観光に関わる問題の現状や要因，解決に向けた取組などについて理解することができる b: 貿易の構造や人・物・資金の流れなどに着目して，「経済連携」や「観光の多様化」などの主題を基に，「地域的な経済連携は，なぜどのように進められてきたのか」や「観光は経済や観光にどのような影響を与えているのか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c: 経済連携の進展や観光の多様化について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査など	定期考査、レポート、プリントなど	活動観察、プリントなど

3	人口	1 人口推移と分布 2 人口構成と人口転換 3 人口移動 4 人口増加地域，減少地域の人口問題	a: 人口に関わる諸事象の空間的な規則性，傾向性や，人口問題の現状や要因，解決に向けた取組などについて理解することができる。 b: 人口の推移，分布，移動などに注目して，「少子高齢化」などの主題を基に，「世界の人口分布や各国の年齢別人口割合は今後どのように変化するだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる c: 世界及び日本の人口問題について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている	定期考査など	定期考査、レポート、プリントなど	活動観察、プリントなど
	まとめ	学んだことの中から興味がある分野について調べまとめ、発表する。	a:課題の解決に向けて，これまでに学んできたことの整理できているか b:探究した内容について適切に文章化，表・グラフ化できているか、発表内容・方法，質疑応答が適切であるか c;授業での取り組みや発言等の学習状況から主体的に追究しようとしているか。	レポート	レポートなど	活動観察など

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度